

これからの製造業に 求められる人材

～自動車部品メーカーでの人材育成を通して～



フロントワイパーシステム



スターターモータ



1 製造業における高等学校卒業者の職種



Q. 高等学校卒業者は、製造業においてどんな仕事に携わることになるの？

新入社員

ミツバでは、工業科・商業科・普通科・農業科から高校生を採用しています。新入社員の各適性に合わせて配属先を決定しています。

技能 職種



各工場でライン作業や設備の保守・点検・管理を行います。

事務 職種



事務関係（経理・総務・労務・教育、採用など）の仕事を行います。

技術 職種



研究・開発・試作・実験の補佐を行います。

各工場配属

各工場は、お客様にお届けする製品を作る最前線です。必要に応じた製品をラインで製造することや工場内の機械が故障した時にメンテナンスなどを行います。



製造ライン作業



設備製作・保守・点検・管理

本社や各拠点

本社や研究開発センターなどで業務計画やお客様対応、必要な事務処理を行います。例えば、必要な資料をパソコンで作成したり、書類を印刷したり、計画を立てたりするような仕事です。



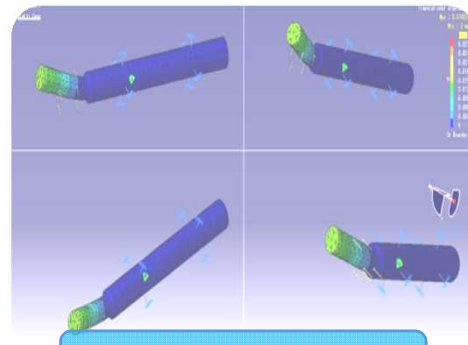
事務処理



採用試験監督

研究開発センター

新製品の開発（試作・研究）や将来に向けた技術開発、既存の製品の性能向上を図るなどの業務があります。また、各工場の生産ライン設備の設計や試作、組み付けを行います。



部品解析



各検査・試験

A. 工場での製造ライン作業が主な仕事になりますが、それだけではありません。工場内の設備製作や設備の保守・点検・管理等を行います。また、製品の品質保証のため、寸法検査や新製品の研究・開発を行う仕事もあります。「自分に合っているな」「やってみたいな」という仕事を見つけてみてはいかがでしょうか？

2 製造ライン以外での活躍の場

Q. 機械で部品を加工したり、新しい製品を作ったりすることや、実験や品質検査にも興味があるけど、製造ライン以外の仕事はどうしたらできるの？

技能職採用者は、入社後工場勤務となりますが、適性或勤務状況によって、各工場から選抜、もしくは本人の希望で社内にある職業訓練校に配属となります（1年間）。

職業訓練校では、製造業における高度な知識や技術を習得します。卒業後は、研究開発センターへの配属や元の工場へ戻り、設備製造などのライン作業以外の業務に携わることになります。

職業訓練校の紹介



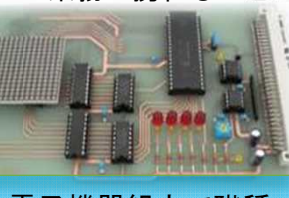
講義の風景



技能五輪チームの紹介

技能五輪とは、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会です。高等学校卒業の新入社員の中から、会社の代表として選抜されます。3年間かけて、各競技の技能を集中的に学び、大会に出場し技能を競い合います。その後は、技能五輪チームのコーチとして活躍したり、本社の研究開発センターで設備や製品の試作を行ったりします。製造設備の開発や品質検査等の業務に携わることになります。

機械組立職種



電子機器組立て職種



抜き型職種



メカロク職種

A. 「職業訓練校」や「技能五輪チーム」で様々な勉強をすることで、学んだことを生かした職場に配属されます。その中には、新製品の研究・開発や試作品の製作や検査、設備作りなど製造ライン以外の業務に携わることになります。

3 製造業における人材育成制度

Q. 会社で働いていたらもう勉強しなくていいの？

1 階層別教育

新入社員対象	入社前	入社前研修(合宿研修)
	1年目	生産実習、安全教育等(各工場)
	2年目	2年目フォローアップ研修
	3年目	3年目フォローアップ研修

各社員対象	専門技術研修
	管理者マネジメント研修
	語学研修 その他



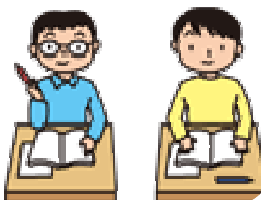
2 OJT(職場内教育)



A. 業務を行いながら上司や先輩から仕事の進め方を教わります。

3 OFF-JT(資格取得など)

A. 自分自身を成長させるため、いつでも勉強は必要です。資格取得等に挑戦します。



A. 経験年数や立場（役職など）によって、研修があり、勉強することがたくさんあります。

4 製造業が求める人材

Q. 企業で働くためには、高校生のうちにどんなことを身に付けておけばいいの？

◎仲間との情報共有や**チームワーク(協調性)**を大切にすること



企業では、多くの時間を割いてさまざまなことを話し合い情報共有を図っています。また、お互いが協力できるよう常にチームを意識しています。

学校でもいろいろな人と**チームワーク(協調性)**を育ていけるよう意識してみたいかがでしょうか？



◎様々な人と**コミュニケーション**がとれること



企業では、複数の人が**コミュニケーション**を取りながらひとつの仕事に携わっています。そのなかで周囲との協力関係が出来上がり、良い仕事ができるのです。

クラスでも部活動でもアルバイト先でも様々な人がいます。コミュニケーション能力を高める努力をしてみたいかがでしょうか？



◎常に**成長する努力**ができること

企業では、計画・実行・評価・改善（PDCAサイクル）を繰り返しながら業務を行い、品質・コスト・納期（QCD）を踏まえた改善活動を常に行っています。これまでの学校生活を振り返り、より良くするために、どのような**改善(成長)**をすれば良いかを考えて、工夫をすることが社会で活躍するための準備になります。



◎「後工程はお客様」=**思いやり**を持つこと

企業では「**後工程はお客様**」という言葉があります。自分の仕事の先には必ず「お客様」がいることを常に考え、すべての業務に対して丁寧に対応します。例えば、自分の業務を引き継ぐ人に対しても「お客様」と考えて、丁寧に仕事を引き継ぎます。常にどんな相手に対しても**思いやり**を持って対応することを大切にしています。

A. 高校生のうちにコミュニケーション能力を高め、チームワーク(協調性)を身に付けることが大切です。企業は、自分を高める努力を惜しまない人を求めています。

5 研修先の紹介

株式会社ミツバ

- (1) 所在地：桐生市広沢町1-2681
拠点数：国内21拠点、海外31拠点
群馬県内に5工場
- (2) 設立：1946年3月8日
- (3) 資本金：98億8500万円
- (4) 従業員数(ミツバ単体)：3,969名
(グループ全体)：21,720名
- (5) 平成28年度採用実績：高卒83名
：大卒51名
- (6) 事業内容：自動車用電装品の開発・製造・販売



研修員 群馬県立伊勢崎工業高等学校 吉田 剛久